



60100-XK7C-K0S0 LIGHT-WEIGHT BONNET_(GFRP)
K1S0 _(CFRP)

for HONDA FIT

取 付 ・ 取 扱 説 明 書

この度は、無限製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
取り付け前には、本書をよく読み、ご理解の上、正しくお取り付け下さい。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のない事を確認して下さい。
2. 取り付け前に取付車両の型式の確認を行って下さい。
[適応車種] F I T G D 1 ・ G D 2 ・ G D 3 ・ G D 4
3. 商品の塗装後の返品は受け付けられませんので、塗装前に無理なく装着出来ることを必ず確認して下さい。
4. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
5. 本製品の加工，組み付け不良，誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 商品課 国内営業ブロック

【営業時間 9:00~18:00】

TEL. 048-462-3135

FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. ライト ウェイト ボンネットが事故や接触等により、破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外して下さい。そのままの走行は、事故発生の原因となる恐れがあり、大変危険です。
2. 定期的に、取付ボルトの締め付け状態を点検して下さい。

◆◆塗装作業の注意事項◆◆

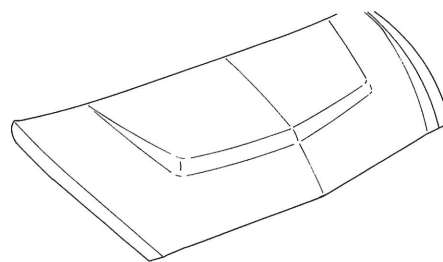
1. 塗装作業前に必ず車両への取り付けを行い、無理なく取り付くことを確認して下さい。
2. GFRP・CFRP とともに、表面はゲルコート仕上げです。必ず塗装仕上げを行い、ご使用下さい。
3. 塗装は、本塗り前に必ず下地処理（足付け研磨・パテ仕上げ・プライマー処理等）を行って下さい。
CFRP 品は、クリアゲルコート仕上げです。足付け研磨時は、研磨のしすぎに注意して下さい。
研磨をしすぎると、カーボンが削れカーボン目が崩れる恐れがあります。
4. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼付上限温度は50℃です。
製品を50℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意下さい。
5. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行って下さい。

推奨品 サーフェーサー：NCサーフェーサーまたは、ウレタン系サーフェーサー
塗 料：2液性アクリルウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）

【構成部品表】

No.	PARTS NAME	QTY
①	ライトウエイトボンネット	1

①



【必要工具】

・ラチェット 10mm ・クリップリムーバー

I. 取付準備

《注意》・ボンネット及び車体にキズ等を付けないように注意して作業すること。

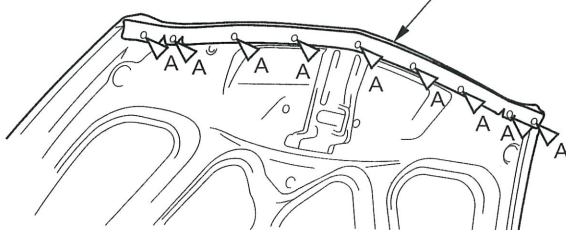
・作業は他の人にボンネットを保持してもらいながら行うこと。

- ① ボンネットを開き、ボンネットシールを取り外す。（ボンネットシール再使用）
* ボンネットシールのクリップは破損に注意して取り外して下さい。取外し後に破損の有無を確認し、破損がある場合は、純正クリップ（91568-SR2-003）をご購入の上、交換して下さい。
- ② ボンネットを取り外す。（ボルト再使用）ボンネット インシュレータの再装着は出来ません。

A(9)



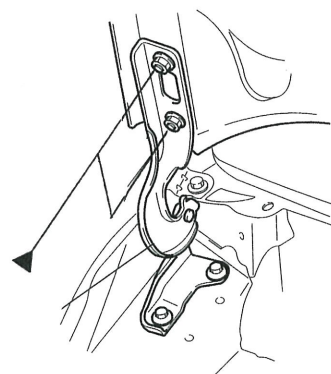
ボンネットシール



▲：ボルト（4）



6 × 1.0mm
トルク 9.8N・m
{1.0kgf・m}

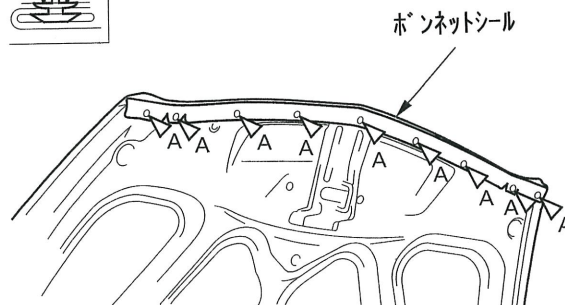
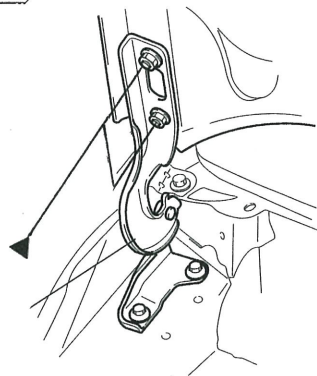
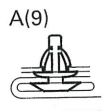
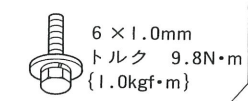


II. ライトウエイト ボンネットの取付

《注意》・車体およびライトウエイト ボンネットにキズ等を付けないように注意して作業すること。
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

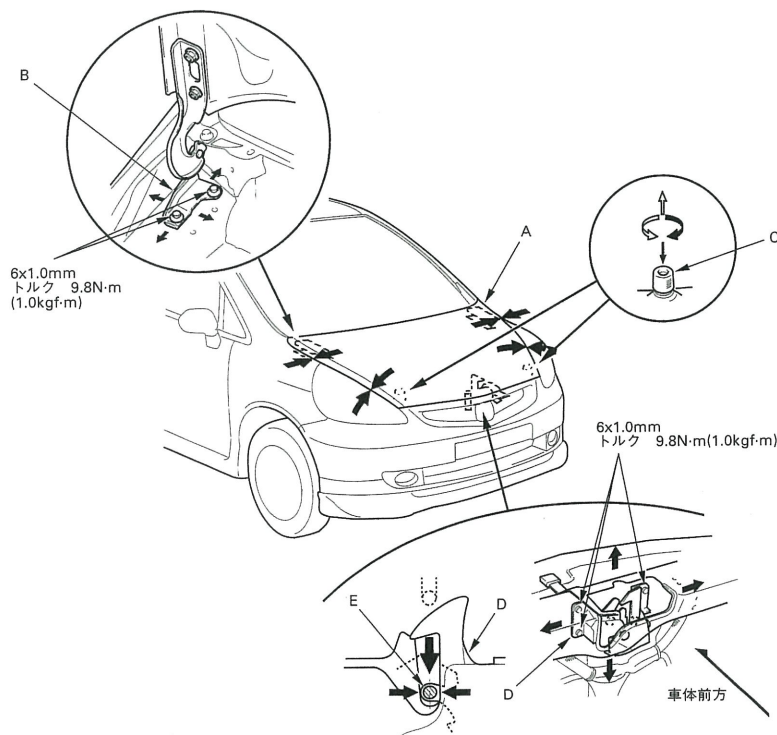
- ①ライトウエイト ボンネットを車体に取り付ける。(ボルト再使用)
- ②ボンネットシールを取り付ける。(ボンネットシール再使用)

▲：ボルト(4)



- ③ライトウエイト ボンネットの建付け調整を行う。

- a. ボルトをゆるめ、各部品が動かない程度に締め付ける。
- b. ボンネットの位置及び、閉まり具合を調節する。
 - ・ ボンネットヒンジの前後、左右方向調整により、ボディとの隙間を調整する。左右方向調の際は、ボンネットロックも同時に調整すること。
 - ・ ボンネットクッションを回転することにより、ボンネット前端部上下方向調整を行う。
 - ・ ボンネットロックの上下方向調整により、ボンネットの閉まり具合の調整を行う。また、ボンネットロックの上下方向調整により、ストライカとの干渉がなく中心でロックされるように調整すること。



- ④ボルトを本締めし、各部の取り付け状態が完全か確認する。